

7:1 しかし、イスラエルの子らは聖絶の物のことで主の信頼を裏切った。ユダ部族のゼラフの子ザブディの子であるカルミの子アカンが、聖絶の物の一部を取った。それで、

【主】の怒りがイスラエルの子らに向かって燃え上がった。

7:2 ヨシュアは部下をエリコからベテルの東、ベテ・アベンの近くにあるアイに遣わし、彼らに言った。「上って行って、あの地を偵察せよ。」部下たちは上って行って、アイを偵察した。

7:3 彼らはヨシュアのもとに帰って来て言った。「民をみな上って行かせるには及びません。二、三千人ぐらいを上らせて、アイを討たせるとよいでしょう。彼らはわずかですから、民をみな送って骨折らせるには及びません。」

7:4 そこで民のうち、およそ三千人がそこに上って行ったが、彼らはアイの人々の前から逃げた。

7:5 アイの人々は彼らの中の三十六人を打ち殺し、彼らを門の前からシェバリムまで追って、下り坂で彼らを討った。民の心は萎え、水のようになった。

7:6 ヨシュアは衣を引き裂き、イスラエルの長老たちとともに、【主】の箱の前で夕方まで地にひれ伏し、自分たちの頭にちりをかぶった。

7:7 ヨシュアは言った。「ああ、【神】、主よ。あなたはどうして、この民にヨルダン川をあえて渡らせ、私たちをアモリ人の手に滅ぼそうとされるのですか。私たちは、ヨルダンの川向こうに居残ることで満足して

いたのです。

7:8 ああ、主よ。イスラエルが敵の前に背を見せた今となっては、何を申し上げることができるでしょう。

7:9 カナン人やこの地の住民がみな、これを聞いて私たちを攻め囲み、私たちの名を地から断ってしまうでしょう。あなたは、あなたの大なる御名のために何をなさるのですか。」

7:10 【主】はヨシュアに告げられた。「立て。なぜ、あなたはひれ伏しているのか。

7:11 イスラエルは罪ある者となった。彼らはわたしが命じたわたしの契約を破った。聖絶の物の一部を取り、盗み、欺いて、それを自分のものの中に入れることまでした。

7:12 だから、イスラエルの子らは敵の前に立つことができず、敵の前に背を見せたのだ。彼らが聖絶の者となったからである。あなたがたの中から、その聖絶の物を滅ぼし尽くしてしまわないなら、わたしはもはやあなたがたとともにはいない。

7:13 立て。民を聖別せよ。そしてこう言え。あなたがたは、明日のために自らを聖別しなさい。イスラエルの神、【主】がこう告げられるからだ。『イスラエルよ、あなたの中に聖絶の物がある。あなたがたがその聖絶の物を、あなたがたの中から取り除くまでは、敵の前に立つことができない。

7:14 明日の朝、部族ごとに進み出よ。

【主】がくじで取り分ける部族は氏族ごとに進み出、【主】がくじで取り分ける氏族は家族ごとに進み出、【主】がくじで取り分ける家族は男一人ひとり進み出よ。

7:15 聖絶の物のことでくじで取り分けられた者は、彼も彼に属するすべてのものも、

火で焼かれなければならない。彼が【主】の契約を破ったからであり、彼がイスラエルの中で恥辱となることをしたからである。』」

到底攻め取ることできないようなエリコの城を、無謀とも思えるような方法で、イスラエルは勝ち取ることができました。それは主に従ったからです。

一方、簡単に攻め取れると思えたアイを、三千人という理にかなった人数で攻めましたが、敗北となってしまいました。主に従わなかったからです。

このように勝利か敗北かは、すべて主によるのです。自分がどれほど有利か、勝ち目があるか、能力があるかは、主の前には役に立たないということを知りましょう。ただ主に従いましょう。

アカンがしたことは、主の栄光を自分の利益に変えてしまったことです。これは教会でも、人生でも気をつけるべきことです。この点できよい者となる必要があります。そうでないと、せつかくの主の栄光が、価値のないものになってしまいます。常に主の栄光を求めましょう。自分のために与えられるものは、主からいただくのですから、それを楽しみに待ちましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

